

年齢なんか関係ない! 「日本国憲法を守ろう」の 94歳に支援が続々と

「護憲」「戦争NO」「原発反対」「命を大事に」

昨年末、衆院埼玉12区から立候補した川島良吉さんは御年94歳。「葬式代」として貯めていた300万円を供託金に出馬、最下位で落選するも、朝日新聞やスポーツ報知など大手新聞社が話題にとりあげたことで、支援の輪が広がっている。

バンクロッカーたちも応援



朝日新聞(3月18日夕刊)に掲載

選挙に出馬するには、供託金が科せられる。ある程度の得票を得ないと、この供託金は戻ってこない。この衆院選挙で川島さんは供託金300万円を失ったが、朝日新聞3月18日夕刊では、札幌市のバンクロッカーが「葬式代カンパ」のための基金を立ち上げ、ツイッターやライブで呼びかけたところ、寄付金が30万円を超えたと掲載された。

震災の被害にあった福島からもカンパがあったという。当選の見込みがないのに、立候補して問題提起をした川島さんの熱意が伝わったことで、励ましの手紙が届いているそうだ。

老いも若きも政治に目を向けよう

前述のロッカーは「自分たちが政治に関心だからこんな状況招いた」とも勉強しなれどと思われ(朝日新聞3月18日夕刊より抜粋)と語ったそうだ。

既成政党の足並みがそろわないことに我慢がならなかったという川島さん、94歳をもって出馬することの勇氣には感服する。いくつになっても挑戦すること、政治に関心を向けること、生活者の立場から声をあげることの大切さを今一度、心に刻みたいものだ。

柏原区長会4人が、市会議員の定数と報酬の削減を要求

大阪府では報酬30%削減を実施
柏原市は、10%にも満たない減額!!

この2月、柏原市区長会役員4人が、市長と市議会議員あわせて「市会議員の定数と報酬の削減を要求する要望書」を提出した。「適正な人数は12名、現18名は多い」「30%の報酬削減」とする内容である。

市議会定員は12名が適切である

この要望に対して、柏原市議会では、定数1名削減して17名(現在17名と欠員1名)とし、しかしながら大阪府内31市の議員定数では、議員12名が適切

な人数である。たった一人の削減では、市民もだまっていけない。

市長の公約は報酬の30%削減

また、報酬に関しては、現状(3月31日までは)の52万円から2万円削減して、50万円にするという回答があったという。

しかしながら、要望書でもそうであるように、現市長が報酬を30%と公約しているのだから当然、市会議員報酬も30%は削減



するべきだ、このような小手先の減額など市民をなめているのか。定数を削減して、報酬をもっと上げるべきであるとされているが、議員も払っている税金の年収と比較しても非常勤である議員報酬は高すぎる、議員に対して頂きたい。

して矛先を向けているが、柏原市議員報酬、幹部数を精査する必要がある。歳出の多くが人件費である。今後でも区長会等が市政に対して、大いにチェック機能を果たして頂きたい。

「かしわら見張り番」からのお願い 「かしわら見張り番」についてのご意見、ご希望等をお聞かせください

5年前の談合事件をきっかけに発行
2009年5月に創刊した「かしわら見張り番」は、その前年に起きた水道工事をめぐって不正入札談合事件がきっかけで、逮捕者まで出しました。柏原市当局はたいした反省の色も見せませんでした。明々白々の談合事件が簡単に続いて

市を見張る市民が必要である
市民の取めた税金の使い方を監視するのは本来、議員、議会の仕事ですが、彼らだけではその使命を十分に果たされないうことは、自治体をめぐる不祥事、絶えず繰り返されている事実が

「かしわら見張り番」を今後どうするか

いろいろな市の実情を知り、是正するため、「かしわら見張り番」代表の濱浦佳子氏が市会議員として議会で発言を続けてきましたが、ご存じのとおり、柏原市長選に出馬するために議員の職を辞したことで、市の情報が入りにくい状況となりました。

その状況下にあっても、「かしわら見張り番」を存続するかどうか、市民の皆さんのご意見をお聞かせください。ご連絡お待ちしています。

電話 072-977-5502
FAX 072-977-8782
info@kashiwara-mihariban.com

かしわら市民のための なんでも相談室開設

セクハラ 体罰 いじめ 虐待 DV

なんでも相談室にご連絡を

複数の有能な弁護士が無料でご相談に応じます。未成年の方でも気軽に電話ください。

電話 072-978-1352
月～金(祝日のそく) 10:00～16:00